

L'ORÉAL

日本ロレアル、欧州委員会の UVA 規定を採用 — UVA ロゴで紫外線防御をさらにわかりやすく —



世界最大の化粧品会社ロレアルグループの日本法人である日本ロレアル株式会社(本社:新宿区、社長:クラウス・ファスベンダー)は、日本において展開する日やけ止め製品の優れた紫外線防御効果を消費者にさらにわかりやすく示すべく、新たなアプローチを採用します。同アプローチは、従来、日本で使用してきた基準とは異なり、2006年の欧州委員会の規定に基づく、より明確な基準となります。

一般的に、紫外線の防御効果を示す指標には、日焼けの要因となる UVB(紫外線 B 波)の防御効果を示す SPF 値(1~50+)と、即時黒化と呼ばれる、メラニン生成によって肌が黒化する症状の要因となる UVA(紫外線 A 波)の防御効果を示す PA 分類(+~+++)が使用されています。さらに UVA は、シワやたるみの原因になることが知られており、この現象は「光老化」と呼ばれています。また、COLIPA(欧州化粧品トイレットリー香水協会; 欧州最大の化粧品業界団体)においてロレアルグループが率いる日やけ止めに関する活動を受け、2006年9月、欧州委員会は、日やけ止め製品の UVA の防御効果を示す PPD 値は SPF 値の 3 分の 1 以上であるべきとする規定を表明しており、これに合致した日やけ止め製品にのみ、UVA ロゴが使用できます。

ロレアルグループではすでに同基準に準拠しており、このたび、紫外線対策への関心が特に高い日本において、UVA ロゴの基準を満たしている日やけ止め製品に UVA ロゴの表示を採用することにしました。これはグループとして、EU 圏外では初めてのことです。UVA ロゴの使用は、「シュウ ウェムラ UV アーマー サンプロテクター」(2010年2月発売)や、皮膚科医推奨の「ラ ロッシュ ポゼ アンテリオス XL フリュイド」(2010年3月発売)の日やけ止め製品に表示されており、2011年から順次、ランコム、ヘレナ ルビンスタイン、ロレアル パリなどの主力製品に使用していく予定です。

UV ケアのパイオニア

ロレアルグループは 80 年にわたり、紫外線防御に関して業界全体を牽引してまいりました。1930 年代より紫外線防御の研究をスタートし、1936 年世界で初めて日やけ止めオイルを販売しました。1982 年に UVA に有効な「メギゾリル® SX」、さらに 1988 年には広範囲な紫外線(UVA と UVB)に有効な「メギゾリル® XL」の 2 つの紫外線吸収剤の開発に成功し、これらは欧州、日本などでの認可を受け、当グループの多くの日やけ止め製品に配合されています(*)。

正しい知識の啓発

日本ロレアルが行った紫外線対策に関するオンライン調査の結果(**)、日やけ止めを購入する際に 55%が SPF 値を目安にしている一方で、皮膚の深部まで届き、シミ、シワなどの要因となる UVA の防御効果を示す PA 分類を目安にしている割合は 26%に過ぎず、紫外線対策に関する正しい理解が低いことが分かりました。こうした現状に対し、紫外線研究のパイオニアとして、今後も科学的な研究のみならず、UVA ロゴに対する認知と、紫外線の正しい理解の啓発にも積極的に取り組んでまいります。

(*)メギゾリル配合の主な日やけ止め製品一覧

ランコム「UV エクスペール GNシールド 50」

ヘレナ ルビンスタイン「プレミアム UV-AG」

ロレアル パリ「リバイタリフト UVブロック」

アトリエメイト by シュウ ウェムラ「フォトプロテクター UV MX」

シュウ ウェムラ「UV アーマー サンプロテクター」

ジョルジオ アルマーニ「UV マスター プライマー SPF40/PA+++」

ラ ロッシュ ポゼ「アンテリオス XL フリュイド」

(**) 全国にお住まいの18歳~55歳までの女性700人を対象に、顔用日やけ止めに関する調査を行った

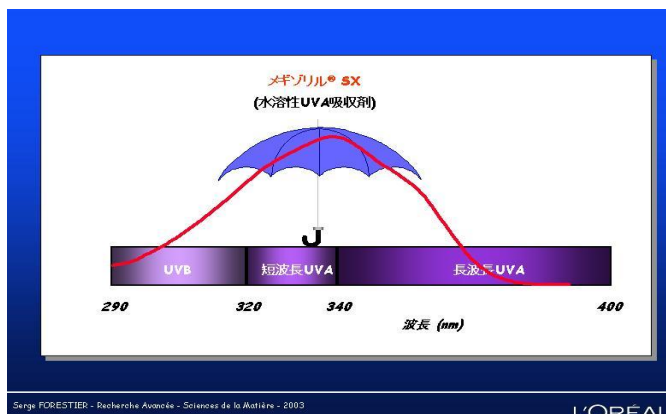
■ロレアルの日やけ止めの歴史

- 1936年 ロレアル、世界初の日やけ止めオイル「アンプル ソレール」を発売
- 1964年 ロレアル、日やけ止めムースを発売
- 1981年 UVA 防御に関する研究を本格的に開始
- 1982年 UVA を防ぐ紫外線吸収剤「メギゾリル® SX」を開発
- 1988年 UVA と UVB を広範に防ぐ紫外線吸収剤「メギゾリル® XL」を開発
- 1991年* 日本化粧品工業連合会による UVB の防止効果を示す SPF 測定基準が発効
- 1993年 メギゾリル® SX を配合した日やけ止め製品を欧州で初めて発売
- 1996年* 日本化粧品工業連合会による UVA の防止効果測定規準(PA 分類)が発効
- 1999年* メギゾリル® SX が厚生省から認可
- 2002年* メギゾリル® XL が厚生労働省から認可
- 2006年 メギゾリル® SX を配合した処方米国の食品医薬品局(FDA)から認可
欧州委員会、UVA 防御効果に関するより明確な基準を勧告

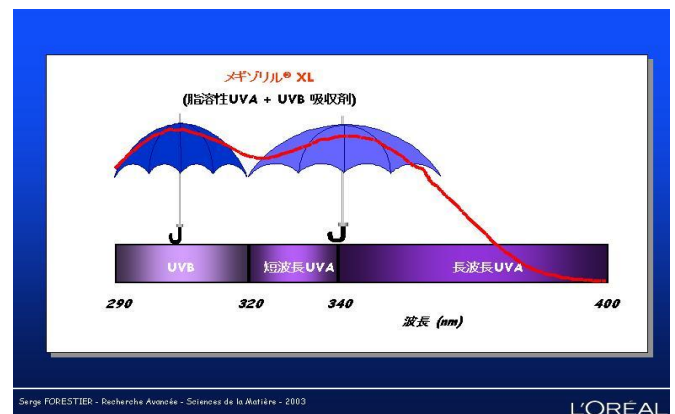
*日本における動向

■メギゾリルの特性

	メギゾリル® SX	メギゾリル® XL
波長特性	UVA から防御 UVA は、窓ガラスを通り抜け、皮膚の深部まで届き、シミ、シワ、たるみなど、光老化の要因となる UVA は、地表に届く紫外線の約 95%を占める UVB は、皮膚の表皮に届き、炎症や日焼けの要因となる	UVA と UVB から防御
配合の容易性	水溶性のため、製品への配合が容易にでき、日常的に使いやすい軽い感触の製品を実現	油性(油に溶ける構造)のため、乳液などの製品に容易に配合可能。油っぽくなく滑らかでソフトな感触で皮膚に馴染む
光安定性	紫外線を吸収しても成分の構造が分解されにくく、安定しているため、長時間にわたって防止機能を果たす。変化を起こさないため、肌への悪影響がない。	
相乗効果	「メギゾリル® XL」は、「メギゾリル® SX」と組み合わせた場合、その相乗効果により、UVA と UVB の両方に対し、高い防御効果を実現	



メギゾリル® SX



メギゾリル® XL

事業内容 : 化粧品の研究、輸入、製造、販売およびマーケティング
設立 : 1996年7月1日
資本金 : 187億5,000万円
従業員数 : 2,500名
営業所 : 大阪、名古屋、福岡
研究所 : 日本ロレアル研究開発センター (川崎市)
工場 : 御殿場
研修施設 : ロレアル東京アカデミー(代々木)、ロレアル大阪アカデミー、ロレアル名古屋アカデミー
主な取り扱いブランド : 16

- コンシューマー プロダクツ事業本部: 量販店、ドラッグストア、バラエティストアなどを通じて販売
「ロレアル パリ」、「メイベリン ニューヨーク」
- ラグジュアリー プロダクツ事業本部: 百貨店を中心に販売
「ランコム」、「ヘレナ ルビンスタイン」、「ジオルジオ アルマーニ コスメティックス」、「シュウ ウェムラ」「キールズ」
「イヴ・サンローラン」などの高級化粧品と、「ラルフ ローレン」「ディーゼル」などのデザイナーブランドフレグランス製品
- プロフェッショナル プロダクツ事業本部: サロン(美容室)を中心に販売
「ロレアル プロフェッショナル」、「アレクサンドル ドゥ パリ」、「ケラスターゼ」、「アトリエメイド by シュウ ウェムラ」
「ケラスキン エステティックス」
- アクティブ コスメティックス事業本部: クリニック、調剤薬局、バラエティストア、ドラッグストアを通じて販売
「ラ ロッシュ ポゼ」、「スキンシューティカルズ」
- クラブ・クレアター・ボーテ: 通信販売事業
「アニエス・ベー」など

【日本における研究開発】

ロレアルグループの3大創造拠点の一つとして、1983年から研究開発拠点を日本に置き、日本ロレアルの設立とともに「日本ロレアル研究開発センター」(川崎市)として統合。現在、フランス以外で初めて基礎、応用、開発、評価の全段階に

関わる研究を行う。日本をはじめ、アジアおよびグローバル市場向けの開発拠点として研究開発への投資を拡大。

- 2010年の投資額は、前年度比10%増
- 160人以上の研究者を擁し、うち女性研究者は62%を占める
- 日本人の肌と髪の研究をはじめ、化粧水、乳液、クレンジングオイル、パウダーファンデーション、色材、香料など 日本独自の専門分野の研究に従事
- 日本開発製品: ランコム「ジェニフィック」、ロレアル パリ「リバイタリフト」シリーズ、メイベリン ニューヨーク「ピュアミネラル コンパクトファンデーション」、ロレアル パリ「エルセーヴ ダメージケア PRO^{EX}」など



美容液: ランコム「ジェニフィック」



アイクリーム/ジェル状美容液:
ロレアル パリ「リバイタリフト ダブルアイ ファーミング」



メイベリン「ピュアミネラル
コンパクトファンデーション」



ヘアパックとエッセンス:
ロレアル パリ「エルセーヴ ダメージケア
PRO^{EX}」

ロレアルグループ (www.loreal.com)

最高経営責任者(CEO) : ジャン-ポール・アゴン (Jean-Paul Agon)

設立 : 1909年

組織 : 世界130カ国300社の企業グループ

2009年度連結売上高 : 175億ユーロ (約2兆1,453億円)

社員数 : 約65,000名 (内 研究開発部門 約3,300名)

主な取り扱いブランド : 23

- コンシューマー プロダクツ事業本部

「ロレアル パリ」、「ガルニエ」、「メイベリン ニューヨーク」、「ソフトシーン カーソン」

- ラグジュアリー プロダクツ事業本部

「ランコム」、「ピオテルム」、「ヘレナ ルビンスタイン」、「ジオルジオ アルマーニ」、「イヴ・サンローラン」

「ラルフ ローレン」、「ディーゼル」、「キャシャレル」、「キールズ」、「シュウ ウエムラ」

- プロフェッショナル プロダクツ事業本部

「ロレアル プロフェッショナル」、「ケラスターゼ」、「メイトリックス」、「レッドケン」

- アクティブ コスメティックス事業本部

「ヴィッシー」、「ラ ロッシュ ポゼ」、「スキンシューティカルズ」、「イネオヴ」

- 「ザ・ボディショップ」

【研究開発】

- 基礎、応用、開発の全研究段階を自社内に有する
- 3大創造拠点であるフランス、日本、米国を含め、世界中に18の研究所と13の評価センターを有する
- 世界で約3,300人の研究者を擁し、うち女性研究者が55%を占める
- 2009年度の研究開発費は、約780億円
- 2009年は、674件の特許を申請
- 30以上の異なる研究分野(化学、生物学、物理学、光学など)に従事
- 100以上の科学・教育専門機関と提携
- 過去30年間に130以上の新成分を開発、特許取得：紫外線防御剤「メギゾリル® SX」「メギゾリル® XL」、アンチエイジング分子「プロキシレン」など